

公開シンポジウム

博士キャリアの

可能性

企業が博士に求めること

2018

10/27 sat

13:30-17:30

日本学術会議 講堂

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 番出口すぐ

18歳人口が減少を始める、いわゆる「2018年問題」が始まり、多くの大学が存続の危機に陥る中、博士号を取得した研究者が、大学で正規のアカデミックポストを得る道は非常に狭くなっています。本シンポジウムでは、アカデミアの外で活躍する博士課程進学者、博士号所持者をアカデミア外へつなげる役割を持つ企業関係者、また博士キャリアについて施策を考える政府関係者に登壇していただき、博士に求められるものは何か、博士号が担保する能力とは何か、について議論を行います。これらの議論を通して、博士号取得者が社会のあらゆる場所で活躍する機会が生まれることを望んでいます。

13:30-13:40 趣旨説明

平田佐智子 / 日本学術会議特任連携会員、若手アカデミー若手による学術の未来検討分科会副委員長、専修大学兼任講師

13:40-14:10 学究の生活を終えた博士を社会は如何に遇したであろうか

西原史暁 / 株式会社教育測定研究所

14:10-14:40 学術界と企業のニーズをつなぐ

栗田卓也 / 株式会社マイナビ 社長室リサーチ&マーケティング部 部長

14:40-14:55 休憩

14:55-15:25 高レジリエンス人材としての博士

吉野宏志 / 株式会社アカリク 営業本部人材紹介事業部 就職支援コンサルタント

15:25-15:55 科学技術イノベーション人材政策について

浅井雅司 / 文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課 課長補佐

15:55-16:10 休憩

16:10-17:20 「博士号所持者は何ができる人なのか」

登壇者によるパネルディスカッション

17:20-17:30 閉会の挨拶

高瀬堅吉 / 日本学術会議連携会員、若手アカデミー幹事、若手アカデミーイノベーションに向けた社会連携分科会副委員長、自治医科大学大学院医学研究科教授

主 催 日本学術会議若手アカデミー 若手による学術の未来検討分科会 イノベーションに向けた社会連携分科会
当日はシンポジウムの様子をライブ配信する予定です。詳細は以下 URL をご覧下さい。

<https://marshmallow1214.wixsite.com/phdcareer>